本日、ここに47,697名の署名をお持ちしました。

高齢ドライバーによる事故防止対策に取り組まれている、関係省庁の方々にお集まりいただき、この署名と思いを直接、手渡せる事に感謝申し上げます。

　2015年12月23日　当時80歳の高齢ドライバーの暴走により、最愛の娘、聖菜が亡くなりました。2日後には、16歳の誕生日を迎えるはずでした。

娘の友人である、舟木君が、事故の3日後には、高齢ドライバーによるの人身事故防止の対策を求める署名を始めてくれました。

活動を始めてからの4年間にも、制度が、整っていれば、失う事のなかったはずの命が、奪われ、高齢ドライバーの重大事故は、増え続けています。

今、まさに、取り組まれている、サポカー限定免許や実車試験導入などの政策が、更に多くの犠牲と悲嘆の上に成るものでなく、国民の命と安全な生活を守るための政策、発展であることを切望し、これまでに失われた命への思いと共に署名をお渡しします。